



議会だより

今回の題字は、^{おのま} ^{のり} ^か **小野真里佳**さん（向原小学校6年生）です。



ボランティアの皆様へ感謝

9月定例会……………2～3
決算審査……………4～6
常任委員会報告………7～10

一問一答
10人が市政を問う…12～17
 あんなこんな
地域のかがやき……………18



安芸高田市
市議会のページ

36億3617万8千円追加し、 233億1824万9千円

- ・ 専決処分した事件の承認（一般会計補正予算 第5号）
- ・ 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

9月定例会

9月定例会を9月8日～29日までの会期で開催しました。

一般会計を含む7会計の補正予算及び令和2年度決算は、予算決算常任委員会へ付託し、賛成多数で可決しました。（4～8ページに掲載）

2常任委員会では、付託された議案審査や、陳情の審査を実施しました。（9～10ページに掲載）

一般質問では、10人が市政を問いました。（12～17ページに掲載）

議案第51号

○個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

市が個人番号を利用する事務に、「精神障害者医療費支給条例による精神障害に対する医療費の支給に関する事務」を追加するもの。

全員賛成

諮問（2件）

人権擁護委員の推薦

藤田美佐子さん
吉田町吉田

石本 悟さん
八千代町佐々井

承認

※ここでの諮問とは、人権擁護委員候補者として推薦したいので議会に意見を求めること。

議員発議（発議第4号）

○令和3年8月豪雨災害に対する特別の財政支援を求める意見書について

令和3年8月11日からの記録的な豪雨により市内全域に多大な被害をもたらし、市民生活や地域に多大な影響を与えている。自治体が不安なく、復旧・復興事業に取り組めるよう、更なる財政支援を国に要望するもの。

全員賛成



本会議議決風景

令和3年度

一般会計（災害やコロナ関連等） 予算総額

- 主な審査**
- ・ 令和2年度決算の認定
 - ・ 財産区特別会計の認定
 - ・ 人権擁護委員の推薦
 - ・ 一般会計補正予算(第6号)(第7号)

■ 専決処分した事件
の承認（1件）

承認第5号
○ 一般会計補正予算(第5号)
(8月豪雨災害対策関連)
3億9千896万3千円

■ 主な質疑

山本(数) 被災者に対しての補助金等の制度に関する周知はどのようにお考えか。
市長 基本的に市民から相談を受けて回答、個別対応には限界がある。
金行 被災した「あすなる」の対応は。
宮本教育次長 先の統合により閉鎖した小学校を調査し、使用可能が判明したら移転する考え。
武岡 床下浸水をした世帯への消毒液の配布は。
大田福祉保健部長 特に措置は講じておらず、床下を乾かしていただく事に尽きる。
熊高 通行止めとなっている三次江津線の今後の対応は。
小野建設部長 広島県と連携をしながら協議していく。

全員賛成

■ 決算審査

■ 令和2年度決算の認定

- 一般会計
- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 浄化槽整備事業特別会計
- コミュニティ・プラント整備事業特別会計
- 下水道事業会計
- 水道事業会計

■ 令和2年度財産区特別
会計決算の認定

- 吉田町吉田財産区
- 吉田町中馬財産区
- 美土里町横田財産区
- 美土里町本郷財産区
- 美土里町北財産区
- 高宮町来原財産区
- 高宮町船佐財産区
- 高宮町川根財産区

一般会計について討論・採決

■ 反対討論

山本(数) 副市長募集の市民への告知は、行政嘱託員を通じ、また、回覧等で公表する必要はある。市長は「インターネットで募集欄にたどり着けない人は副市長の資格がない」と。公費を使った公的な事業は、市民に知らせる義務がある。

■ 賛成討論

熊高 コロナや災害対策、そういった中で事業見直し、改善された数値もある。財政が厳しい状況で、未来を指した第一歩と評価。

■ 採決

■ 賛成

南澤・田邊・武岡・新田
芦田・山根・先川・児玉
大下・山本(優)・熊高
秋田・金行・石飛

■ 反対

山本(数)

■ 賛成多数で可決

※その他は全員賛成

令和2年度
決算審査

一般会計

歳入総額 238億997万9千円

歳出総額 229億9380万円

特別会計

(単位：千円)

	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険特別会計	3,125,101	3,035,583	89,518
後期高齢者医療特別会計	490,014	479,338	10,676
介護保険特別会計	4,625,982	4,468,619	157,363
農業集落排水事業特別会計	476,649	475,747	902
浄化槽整備事業特別会計	326,395	326,230	165
コミュニティ・プラント特別会計	5,982	5,946	36
6つの特別会計 合計	9,050,123	8,791,463	258,660

委員長報告（抜粋）

令和2年度普通会計の決算規模は、歳入歳出ともに前年度を上回るものとなった。
ポイントは以下の通り

【収支】

(単位：千円)

	令和2年度	令和元年度	前年度比較	傾向	解 説
実質収支	533,060	251,898	281,162	改善	歳入歳出差引額－翌年度繰越額
単年度収支	281,162	47,979	233,183	改善	実質収支－前年度実質収支
実質単年度収支	△73,647	△453,404	379,757	改善	単年度収支＋基金積立額－基金取崩額

【指標】

	令和2年度	令和元年度	前年対比	傾向	解 説
経常収支比率	92.8%	98.2%	△5.4%	改善	経常的収入に対し義務的経費の占める割合
実質公債費比率	12.9%	13.8%	△0.9%	改善	財源の内、借金の占める割合。早期健全化基準は25%以上
将来負担比率	94.7%	94.1%	0.6%	悪化	財政規模に対する負債の割合。早期健全化基準は350%

主な質疑

■ 一般会計 ■

■ 総務部

【情報管理課】

新田 あじさいネットの無線地域の有線化について令和2年度は美土里町橋上地区が完了し地域の方も喜んでいて、今後の予定は。

竹本課長 今年度は美土里町塩瀬地区の有線化を行なっている。

熊高 電算システム事業

予算決算常任委員会

令和2年度一般会計・特別会計・公営企業会計決算について、9月22・24日の2日間委員会を開き、慎重に審査しました。

委員長 金行 哲昭
副委員長 新田 和明
委員 議長・監査委員を除く
全議員

について「三次市と自治体クラウドに関する協定」を締結したが、国の業務標準化の動向による影響は。

竹本課長 三次市と協定を結び、総務省が標準化の指針を示した基幹系17業務について先行して協議を行っている。現在、システム開発会社がプログラム改修を進めている。

【危機管理課】

南澤 ハザードマップ配布に会計年度任用職員を雇用しているが、行政嘱託職員を活用しなかった理由は。

河本課長 当初は行政嘱託員を活用する予定だったがハザードマップは重量があるため断念した。郵送も検討したが見積額が約700万円であった。会計年度任用職員は80万5千円とわかり合理的に判断した。

石飛 消防団の詰所の更新・修繕について状況と

計画は。

河本課長 ここ2年間は詰所の更新は実施していない。今後は、合併以来の課題である消防団の再編とも合わせながら考えていきたい。

【財産管理課】

山本(数) 一般車両管理事務について10年10万キロを基準に老朽化車両を売却し、フルメンテナンスリース車両を導入するとあるが、コストの削減効果は。

稲田課長 事務コストが大幅に軽減できている。

武岡 一般車両管理事務について、職員の公用車による事故が多発しているが原因と対策は。

稲田課長 平成30年度14件、令和元年度27件、令和2年度20件、不注意が主な原因。特に新人職員の事故が多い。講習を行うことで対策に努める。

■ 企画振興部

【財政課】

児玉 人件費の時間あたり単価は。単価を出して削減意識を高めるべきでは。

高藤課長 全職員の給与を人数で割り平均単価(740万6千円/年)を算出。時間単価については今後意識を持って改善につなげていく。

【政策企画課】

児玉 生活路線確保対策事業(お太助ワゴンなど)の決算額が2億900万。利用者は一日平均108人。一人当たりの経費は非常に大きい。実際の利用料金は500円だが、一利用当たりの経費がどれだけ掛かっているか啓発が必要では。

高下課長 ご指摘の通り。利用者の負担額は10〜20%。啓発に努める。

【地方創生推進課】

山本(優) 田んぼアートの目的税として受けたふるさと納税の処理は。

北森課長

企業版ふるさと納税を募った。全て事業費に充て完結した。

熊高 まち・ひと・しごと創生事業について、令和2年から6年までの4年間事業が展開されているが、どのように評価しているのか。市長の考えは。

石丸市長 机上の空論だと感じた。私の思いと合わない部分が多い。5年計画で、まだ出来たばかりのため、これを保持したまま、より中身のある事務事業を展開しているところである。

■ 消防本部

田邊 災害時、今の装備品で不足はないか。

吉川課長 水害の際、署員が手で運べる小型ボートが必要であると認識している。

■ 市民部

人権多文化共生推進課
山本(数) 在住外国人

について病気時の対応は。

久光課長 多文化共生の推進員に相談頂ければ対応できる体制である。

■ 福祉保健部

【社会福祉課】

田邊 生活保護世帯数1世帯の内訳は。

久城課長 高齢者世帯62、母子世帯13、障害者世帯29、傷病世帯11、その他44。

武岡 社会福祉協議会への人件費補助の考え方は。

久城課長 全国社会福祉協議会作成の指針を基に事務局長1名、法人部門管理者、職員各1名、福祉活動推進部門管理者1名、職員3名という基準を定めた。

山本(優) 民生委員の定年制があったが成り手不足である。定数の削減は検討されないか。

久城課長 定数削減については検討したが、委員一人当たりの負担増の懸

念があり進めていない。

【子育て支援課】

南澤 利用の少ない児童遊園は撤去・廃止を検討するとあるが4園ある内、どこが対象か。

久城課長

全園が対象。実際子供が遊ぶ姿はほとんど見受けられない。防災上の拠点という意味合いもあり簡単に結論は出ないが検討が必要だ。

山根 放課後児童クラブ

の支援員一人当たり何名の児童を受け持っているか。また報酬は。

久城課長

児童クラブは1クラス40名に対し支援員2名が国の基準。配慮が必要な児童がいる所は1名増員している。報酬は時間給で施設長1409円、放課後児童支援員1200円、子育て支援員1000円、その他の補助者871円である。

【健康長寿課】

山根 県内での長寿で健康な方のランクは。

中野課長 左記のとおり。

2017年のデータ

女性は県内1位
健康寿命 85.83歳
平均寿命 90.06歳
男性は県内6位
健康寿命 78.44歳
平均寿命 80.17歳

■ 産業振興部

【地域営農課】

芦田 鳥獣害対策について令和2年度は前年に比べ捕獲頭数が増加している。要因は。

三戸課長

主には捕獲班による成果である。農業者自ら捕獲できるようになったものの、資格が必要なため、効果はこれからであるが、自ら農地を守ることは重要だと考えている。

南澤

鳥獣害対策について成果指標を捕獲頭数で示しているが被害額はどのようになっていくか。

三戸課長

残念ながら増加しており4301万円

となっている。

南澤 であれば、成果指標は捕獲頭数ではなく被害額で計るのが正しい対策ではないか。

三戸課長 ご指摘の通り被害削減の取組であるので検討する。

【農林水産課】

熊高 森づくり事業の課題として環境貢献林は条件が厳しいため選定に苦慮しているところがあるが、要件緩和の交渉は行なっているか。

森田課長 要望は県に伝えるようにしている。

新田

小規模崩壊地復旧事業について平成30年災害の要望箇所ではいくつ残っているか。

森田課長 30箇所残っており年に1〜2箇所の採択に留まっている。県へ強く要望を行う。

【商工観光課】

芦田 外郭団体にかかる費用が合計2億8900万円、その内指定管理料

が約1億9000万。令和2年度の実績を踏まえ

た市長の評価と外郭団体運営の考えを伺う。

石丸市長

評価としてはこのまちの規模からして過大であると捉えている。これからの方針は可能な限りスリム化する。

【建設部】

児玉 観光客数は計画を上回っているが、観光消費額は減少している。その要因は。

松田課長

道の駅開業により入り込み観光客は増えたが、コロナ禍により消費額が減少している。

■ 建設部

【住宅政策課】

山本(数) 市営住宅の滞納についてどのように対応しているか。

小櫻課長

分納誓約を結んでいる。履行されていない方には呼び出しや訪

問により納付を促し、徴収を行った。それでも滞る場合は滞納整理本部と連携し、裁判所へ支払督促請求とそれに伴う退去の流れも研究を行っている。今後対応していきたい。

【子育て課】

熊高 市道維持関連について支所毎の額は。
河野課長 左記のとおり。

【支所別市道維持費】

吉田	2,300万円
八千代	800万円
美土里	1,290万円
高宮	1,140万円
甲田	1,260万円
向原	1,620万円

熊高 除雪・倒木も含まれるかと思うが支障木の予算は。

河野課長 年間1200万円を確保している。

3
年度
補正

一般会計補正予算(第6号) 1億2011万6千円を追加

可
決

令和3年度一般会計補正予算(第6号)

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億2,011万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を202億115万円とするものです。

1. 歳出【通常分】

(単位：千円)

所管部局	金額	主なもの
総務部	△20,810	光ネットワーク管理運営費、人件費 他
企画振興部	△2,989	市有住宅管理運営基金積立金 他
市民部	3,457	マイナンバーカード交付事業費
福祉保健部	△97,398	放課後児童クラブ工事 他
産業振興部	10,508	外郭団体の施設維持修繕工事 他
建設部	59,089	市道路線維持管理委託料 他
消防本部	774	指令施設システム改修費
教育委員会	34,375	小中学校施設・設備等管理整備事業 他
選挙管理委員会	1,870	衆議院議員選挙費
合計	△11,124	

2. 歳出【災害関連】

(単位：千円)

所管部局	金額	主なもの
建設部	125,000	土木施設災害復旧費
合計	125,000	

3. 歳出【新型コロナウイルス感染症対策】

(単位：千円)

所管部局	金額	主なもの
企画振興部	600	甲立駅乗車券類発売業務支援補助金
福祉保健部	5,640	生活困窮者自立支援金 他
合計	6,240	

4. 歳入

(単位：千円)

区分	金額	主なもの
国庫支出金	5,377	現年災害復旧事業費負担金 子ども・子育て支援整備交付金 等
県支出金	△16,529	子ども・子育て支援整備交付金 農地・水保全管理支払交付金事業補助金 等
財産収入	△1,043	物品売払収入
繰入金	113,177	地域振興基金繰入金 財政調整基金繰入金
諸収入	134	災害対策費用保険 郡山城グッズ販売代
市債	19,000	児童クラブ整備事業 土木災害復旧事業 等
合計	120,116	

3
年度
補正

一般会計補正予算（第7号）

31億1709万9千円を追加

可
決

令和3年度一般会計補正予算（第7号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ31億1,709万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を233億1,824万9千円とするものです。

1. 歳出【災害関連】

(単位：千円)

所属部局	金額	主なもの
総務部	25,504	災害対策費（職員手当）他
企画振興部	△1,378	森林環境譲与税積立金 他
市民部	34,421	災害等廃棄物処理事業補助金 他
福祉保健部	21,824	災害・弔意見舞金、貸付金 他
産業振興部	1,214,311	農地災害復旧費 390,265 農業用施設災害復旧費 603,199 林業施設災害復旧費 118,287 他
建設部	1,806,686	土木施設災害復旧費 1,773,150 他
消防本部	1,913	消防施設災害復旧費
教育委員会	13,818	学校教育施設・社会体育施設災害復旧費 他
合計	3,117,099	

2. 歳入

(単位：千円)

区分	金額	主なもの
地方交付税	13,000	特別交付税
分担金及び負担金	68,580	農地・農業用施設災害復旧事業分担金 他
国庫支出金	617,510	現年災害復旧事業費負担金 災害等廃棄物処理事業費補助金 他
県支出金	476,610	農地・農業用施設災害復旧事業補助金 他
寄附金	10,137	災害復旧費事業指定寄附金 ふるさと納税制度災害復旧支援寄附金 他
繰入金	538,562	財政調整基金繰入金 他
市債	1,392,700	土木災害復旧事業 農林災害復旧事業 他
合計	3,117,099	



大規模土石流による被災現場

総務文教常任委員会

9月16日に委員会を開き、議案1件と陳情・要望2件を慎重に審査しました。また、10件の報告を受けました。

(主な審査)

○安芸高田市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

(報告事項)

○8月豪雨災害における避難所の運営状況について
他9件

委員長 山根温子
副委員長 武岡隆文
委員 南澤克彦
山本数博
新田和明
先川和幸
山本 優
穴戸邦夫

議案審査

個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

概要

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号利用について、法定事務以外に個人番号を利用する事務について、条例で新たに規定するもの。
規定する事務は「安芸高田市精神障害者医療費支給条例による医療費の支給に関する事務」

採決

全会一致で可決

陳情・要望

(1) コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

〔提出者〕 全国市議会議長会 会長 清水富雄 (横浜市会議長)

〔要旨〕 令和4年度地方税制改正に向け、地方税の充実確保を求めるもの

〔審査結果〕

・上記意見書は委員会で協議し、継続審査とした。

〔理由〕 国による固定資産税減額の特別措置は、本市の財政を圧迫するものだが、意見書通り措置終了となれば市民への負担増となる。また県内各市町の取り扱いも足並みが揃っていない状況であり、さらなる調査が必要と判断。

(2) 人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること

〔提出者〕 沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表 具志堅 隆松

〔要旨〕 戦没者遺骨が多い沖縄本島南部地域の土砂を辺野古新基地建設の海域埋立に使用しないことを求めるもの

〔審査結果〕

・上記要望書は委員会で審査の結果、不採択とした。(賛成少数 1:6)

〔理由〕 心情的には理解はできるが、本件は外交上・防衛上に関連する中央政府の担当事項であり、地方議会の権限外であると判断。

報告事項

8月豪雨災害における避難所の運営状況について

概要

避難所開設は8月12日から最長で28日まで。

避難指示は多治比川の水位の上昇と、土砂災害に関するもの。避難の概況は27施設2480名。ピーク時にはクリスタルアーシヨ429名、甲田ミューズ140名、向原みらい115名の避難者があった。
要介護の高齢者、体調不良や避難生活が難しい方などへの対応、避難場所の受入人数、備蓄品の数量、運営のあり方など、課題として再考していくと報告があった。

産業厚生常任委員会

9月17・29日に委員を開き、議案3件を慎重に審査し、報告を5件受けました。

(主な審査)

- 安芸高田市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取消しについて
- 土地改良事業計画の変更について
- 字の区域の変更について

○パートナースhip制度の導入
他4件

- 委員長 大下正幸
副委員長 芦田宏治
委員 田邊介三
児玉史則
熊高昌三
秋田雅朝
金行哲昭
石飛慶久

特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定の取消しについて

■概要

地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律の規定に基づき、特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定を取り消すもの。

○指定を取り消す郵便局

- 美土里町 生桑郵便局、北郵便局
高宮町 川根郵便局、来原郵便局

■質疑

秋田 利用者が全体で300件あったものが100件弱まで減ってきたということであるが、生桑や来原は少し増えている。廃止の周知等はどのようになっているか。

金行 どれくらいの経費削減になるのか。

佐藤総合窓口課長

現在、証明書1件当たり2500円の経費がかかっている。生桑・北郵便局にターミナルアダプタ等を接続すると試算では5000円の経費がかかるようになる。そのため事業を見直ししている。

福井市民部長

傾向としては微増の年もあるが減少している。市民の方にはご協力を得ながら廃止させていたただきたい。

土地改良事業計画の変更について

■概要

団体営圃場整備事業で吉田口地区が令和3年度に完了予定であり、圃場整備事業地区の境が変更となることから、地区面積が増加し、計画変更の要件に該当するため、土地改良事業計画を変更するもの。

字の区域の変更について

■概要

団体営圃場整備事業吉田口地区の実施に伴い、従来の地形が変更され字界（あざかい）が不明となったため、圃場整備後の区画に合わせ字界を変更するもの。

報告事項

パートナースhip制度の導入

■概要

性的マイノリティのカップルがパートナースhip宣誓をしてもらうことで受領カードを発行し、行政の様々なサービスが受けられることとなる。10月1日からの制度導入を図るもの。

■質疑

芦田 地域住民の理解を深めていくことが大事だと思う。それについて今後の取組の考えを伺う。

久光人権多文化共生推進課長

7月にLGBTを対象にした市民セミナーを行っており、広報紙でも周知していきたい。



圃場整備場所（吉田口地区）

3
年
度
補
正

一般会計補正予算(第4号) 2億1966万3千円を追加

可
決

令和3年度一般会計補正予算(第4号)

新型コロナウイルス感染症対策に要する経費を既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ2億1,966万3千円追加し、歳入歳出予算の総額を196億8,207万1千円とするものです。

1. 歳 出

(単位：千円)

所管部局	金額(区分)	金額(事業)	主 な も の
福祉保健部	27,642	780	【生活困窮者自立支援事業費】 生活困窮者自立支援金
		4,288	【公立保育所管理運営費】 備品購入費
		7,360	【私立保育園費】 新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金
		6,460	【放課後児童クラブ運営費】 備品購入費
		8,754	【新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費】 職員手当等 事務機器等借上料 等
産業振興部	181,150	46,150	【外郭団体等運営指導事業費】 たかみや湯の森 エコミュージアム川根 神楽門前湯治村 土師ダム周辺環境整備施設 各施設指定管理料
		135,000	【商工業振興事業費】 事業継続応援給付金
教育委員会	10,871	8,113	【情報教育推進基盤整備事業費】 消耗品費
		2,698	【図書館運営事業費】 Wi-Fi 環境改修業務委託料 図書マーク作成委託料 備品購入費
		60	【体育施設維持管理費】 消耗品費
歳出合計	219,663	219,663	

2. 歳 入

(単位：千円)

区 分	金 額	主 な も の
国庫支出金	158,751	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費臨時補助金
繰入金	60,912	地域振興基金繰入金
歳入合計	219,663	

10人が 一問一答 市政を問う

一般質問は発言者本人が文章を作成しています。

インターネット議会中継 一般質問・本会議をみてください!

〔視聴方法〕

市ホームページ → 安芸高田市議会 → 議会中継

<https://www.akitakata.jp/ja/parliament/>

インターネット回線の状況やYouTube社側のメンテナンス、その他ご利用のパソコン環境などにより、正常に視聴できない場合がありますので、ご了承ください。
各支所において、一般質問のライブ・録画中継を行っています。

市長 これが異常気象でなく常態化して
市長 近年記録的豪雨による河川の増水が頻発しているが、河川の流量に応じた多治比川の改修・復旧を県に要望すべきではないか。



芦田 宏治
(無所属)

豪雨災害について

多治比川の災害復旧は

市長/県に改良・復旧を含めた河川整備を要望している

きています。それを踏まえて、より安全な河川整備、改良復旧を要望している。
市長 クリスタルアージュに多くの市民が避難したが、コロナ禍での受け入れ態勢の実態と課題は。
市長 ピーク時には440人の避難者があり、場所によっては人が多いと感じられた時もあったと聞いている。他の避難所の案内や自家用車



堤防が決壊した多治比川

での避難を薦めるなど機動的に対応した。
市長 避難所で水や食料、毛布などの救済物資の不足は無かったか。
市長 食料については、市の備蓄と災害協定に基づく救援物資によって不足なく対応できた。毛布については、ピーク時にいくらか不足が発生している。

石飛 多治比川のその他水路の内水排除を伺う。
市長 農業用水路の内水排除は、土砂撤去補助を受け付けている。
石飛 水路の土砂を全部取って頂きたい



石飛 慶久
(無所属)

多治比川の治水対策の優先順位は
市長/危機対応は、最優先

市民の要望と思う。実行して頂きたい。
市長 周囲全般検討する。
石飛 市が内水排除の問題を捉え整理することが先決では。
市長 県が、現在調査中である。その結果で、市・県のやるべきものが判明する。
石飛 災害対策本部が、市民に具体的な



応急復旧された決壊した堤防
(8月27日時点)

対策を示したか。
市長 諸々のフィードバックは10月中旬に公表予定である。
石飛 激甚災害の認定の見通しは。
市長 法律の指定基準で可否が判定。
石飛 多治比川の治水対策の優先順位は。
市長 危機対応は、最優先である。

秋田 今回の災害で甚大な被害が発生したが、今後の基金状況についての見解は。
市長 今後は復旧復興事業の補正予算編成が必要で、更に数億円の取崩しが必要になるとみている。
秋田 基金積立てに向けた今後の取組は。
市長 基金はあくまで剰余金を積み立てるものであり、特段の取組は行わないが、財政健全化計画に基づき、歳入確保



秋田 雅朝
(無所属)

財政健全化

**財政調整基金積立ての
今後は**
**市長/あくまで剰余による
基金積み上げで**



早期の復旧が望まれる被災農地

と歳出抑制という基本動作で剰余が生まれば積み立てる。
早期の農地復旧対策を
秋田 被災された農家の方は今後につい

て悲観されていると思われ、早期の対策と支援が必要では。
市長 速やかに営農が再開できるように復旧事業に取り組んでおり、調査中の箇所が判明次第、適切に対応していく。

危機管理意識

災害対策本部の責任者として

市長／考えた末の服装



山本 優 (無所属)

市長 効率的な運用のためにベストを尽くしたまで。

山本 適正な指示を出すためには、災害現場をしっかりと見て、現状を把握して指揮を執るべき。現状の把握は。

市長 市長が現場を見ること、それ自体意味がない。職員が手分けして、全部署、全ての課が私の目や耳となって情報を集めてきてくれるので私は冷静に判断すれば足りる。

山本 災害の要望活動については。
市長 行わないという要望活動とは挨拶回りの類。そんな不確かなものは市民に対する欺瞞である。

山本 災害時のメディア対応において市長は私服で対応していたが、対策本部長の立場としての心構えについて。
市長 考えた結果、わざと脱ぎ、臨場感を伝えたいという結論でこれが最も有効だと考えた服装を選んだ。



被害の大きい楢木川

大雨の原因となる気候変動に対して具体的な対策は

市長／調査研究を進める

地球温暖化



南澤 克彦 (無所属)

南澤 地球温暖化が及ぼす影響は。

市長 人類の経済活動が気候変動に影響を与えているというのが国際標準の認識。当市も我が事として考えていかねばならない。



谷を堰く倒木が至る所にある

南澤 今後の具体的な対策は。

市長 国の方針に沿って推進していく。

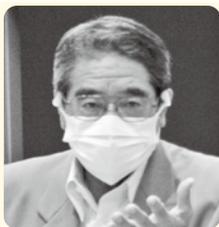
南澤 具体的に循環型エネルギーの活用推進を提案する。

市長 先例のあるものについては検討する。

南澤 薪ストーブの導入補助や木質燃料の供給体制整備など森林資源の活用も可能性を感じるが。
市長 成功事例を見て判断する。

南澤 山は人が入らなくなると荒れていく。倒木も多く土砂災害・獣害の原因にもなる。住民が森に入り、資源を上手く使いながら防災にもつなげる仕組みを考えてほしい。
重永産業振興部長 これから検討する。

金行 戸島川と江の川合流点付近の河川堆積土砂による浸水被害軽減のため、堆積土砂撤去の計画は。
市長 現在のところ国と県に計画はないが、国や県に適宜適切に意味のある要望



金行 哲昭
(無所属)

江の川の堆積土砂撤去を

堆積土

市長／国や県に適宜適切に要望する



戸島川と江の川合流点付近の堆積土

をこれまでも行っているし、これからも行っていく。

フレイルの取組

金行 フレイルは年を取って心・体のなたらみや社会的なつながりが弱くなった状態を指し、放置すると要介護状態になる可能性がある。市の取組は。

市長 市内の42会場で集団活動を行うげんき教室を開催し、保健師や管理栄養士が健康とどけ隊事業を実施し、個別の面談や電話による相談もしている。

災害対応

多治比川災害復旧の考え方は

市長／都市機能最適も含め考える



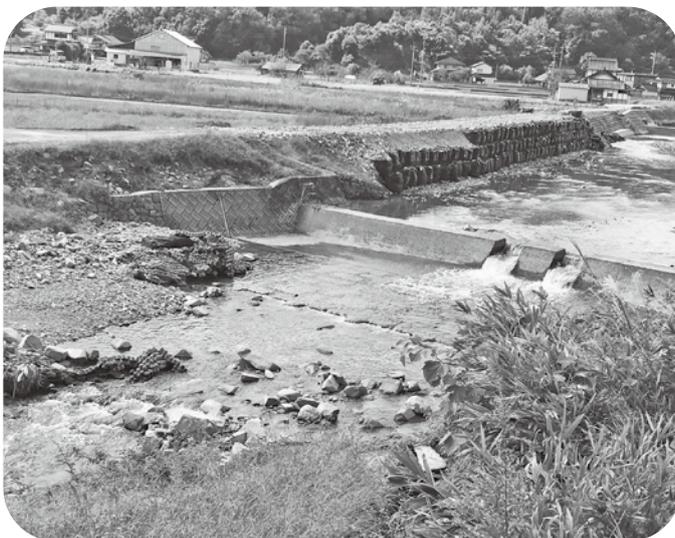
熊高 昌三
(無所属)

していく。都市機能の最適配置を含め、都市計画マスタープランに反映する。

○(その他の質問)
避難所の良質な環

- 境づくりと食料供給基準について
- 介護給付費削減へ向け、各支所の保健師体制強化と幼少期からの口腔ケアが必要では
- 市独自の予算化基準が必要では
- 人口減少化で常会そのものの維持が難しくなっているその課題解決は

熊高 災害復旧を考える中で多治比川を上流、中流、下流域に区分して検討すべきではないか。
上流域は砂防河川として、中流域は農業用井堰のあり方を整理し、下流の江の川合流点は江の川河床高を下げる必要があると考える。市長の考えを伺う。
市長 現在県が調査分析をしているのでその結果を捉えて市としての役割を果た



多治比川にある井堰の影響で水位上昇が起きた可能性がある

治水治山対策

内水被害防止のため 排水ポンプ施設を

市長／財政面から整備は困難



武岡 隆文
(無所属)

た時点から考えは変わっていない。
武岡 財政が厳しい中ではあるが市民の生命、財産が最優先されるべきと思うが。

市長 一番の原因は県が管理する多治比川の決壊であり、改良復旧を含めて要望している。

武岡 山腹崩壊により住家等への土砂流入など多大な被害が発生している。支援策を拡充すべきでは。
市長 8月27日から土砂撤去を補助する支援策を開始した。

武岡 江の川の水位が上昇すると多治比川の排水が困難となり今回の氾濫に拍車をかけた。これにより、多くの床上浸水等、甚大な被害を招いた。被害防止のため、常設の排水ポンプ施設を設置すべきと考えるが。



山腹崩壊により倒壊した家屋

田邊 安心して活動できるように、共済の加入に取り組む考えはあるか。
市長 マイカー共済も検討しながら、何か使える車両を借り上げる等も併せて検討できればと考える。



田邊 介三
(無所属)

災害活動

消防団員マイカー共済

市長／前向きな検討の余地がある

田邊 どのくらいの時期からスタートできるようなイメージで検討するのか。
市長 急ぎたいところではあるが、来年度と申し上げるのは困難である。
田邊 スタートとして1分団1台などで、検証するためにテスト的に加入してみようか。
市長 試行してみる前に試算をしたい。今、フィードバックの集約をお願いしている。消防団が実際に対応している中で、課題も上がってくると思うので、それらも踏まえ議論をして結論を公表していきたい。

2020年4月から
マイカーを使用する消防団員の活動を支援します。

- ★ 災害出動にマイカーを使用したとき、マイカーが洪水で流された。車両保険を付けていないと、どこからも自動車の補償がされない。
- ★ 個人の自動車保険に頼らずに、公務中なのだから、自動車の損害を救済してほしい。

こうしたご意見にお応えするために

消防団員の皆様へ、掛け金を負担することなく、災害出動時に使用しているマイカーが、災害で被災した場合に、普通地方公共団体の財産の損害に対する相互救済事業で補償される仕組みを実現しました。

出動要請を受けて、駆けつけている間や宅所に停めている間に、河川の氾濫などで自動車が損傷するリスクがあります。	車両共済 災害による被災に際して、補償限度額（※）の範囲でマイカーの修理代を補償します。
災害時には、自動車の周囲の人や他の自動車の動きが、混乱し、接触事故の危険性が高まります。気を付けていても、賠償事故が発生するリスクがあります。	損害賠償共済 個人が行われている自動車保険の対物賠償保険、対人賠償保険と同じ補償内容です。

※車両共済の補償限度額（※共済責任額）は、法定耐用年数に応じて自動的に設定されます。（裏面参照）

個人が付保されている自動車保険に優先して、この自動車共済を適用します。

共済の掛け金は市町村が負担します！ ただし、共済期間外の災害出動時の事故は対象外となります。	個人の自動車保険を変わらなくて済みます この共済で補償可能な範囲においては、マイカーの自動車保険を使用する必要がなくなります。	安心の相談代行サービス 損害賠償共済では、専門職員が相談代行を行います。 注）通常のとお見合い等は、共済が代行することはありません。
--	---	---

消防団員のマイカー共済制度
(出典：消防庁ホームページ)

山根 災害時における協定を締結されている。今回福祉施設での避難者受け入れの対応はされたのか。
市長 対応を行なっている。福祉避難所については、3箇所合計4名の受け入れ



山根 温子
(無所属)

避難所

協定先への開設要請は

市長/状況に応じて判断し対応

があった。
山根 今回、要請が遅れていたという声も聞いているが。
行森総務部長 この3箇所については、要請をしたわけではないが、受け入れをしていただいたもの。避難所運営・開設等においても非常に課題が出ている。しっかりと検討し

災害時における避難所等施設利用に関する協定書

(避難所等の開設)

第3条 甲は、災害時において前条第1項の施設を避難場所等として開設する必要がある場合は、乙に対し、避難所等開設要請書(様式第1号)により要請するものとする。ただし、緊急を要するときは、電話等により要請し、事後、速やかに書面を提出するものとする。

令和3年7月版「安芸高田市地域防災計画 資料編」の関係協定等から協定書の一部を掲載

て、次の災害対応にあたっていく必要がある。
山根 協定は甲から乙に、甲である市が乙に要請をしなければ動けない。今後に向けて、災害の状況によらずとも、高齢者等避難、レベル4で要請を出す考えは。
市長 状況に応じて全ては判断する。

議会のうごき

議会のうごき 7月~9月の議会の主な活動状況

7月

- 16日 議会広報特別委員会
- 20日 全員協議会
議会運営委員会
- 28日 第3回臨時会
予算決算常任委員会
- 29日 議会広報特別委員会

8月

- 11日 議会運営委員会
- 20日 全員協議会

9月

- 1日 議会運営委員会
- 8日 第3回定例会(開会)
議会広報特別委員会
- 9日 予算決算常任委員会
- 13日 本会議(一般質問)
- 14日 本会議(一般質問)
- 16日 総務文教常任委員会
- 17日 産業厚生常任委員会
- 21日 全員協議会
- 22日 予算決算常任委員会
- 24日 予算決算常任委員会
議会運営委員会
- 29日 産業厚生常任委員会
第3回定例会(閉会)

■令和3年第4回定例会は12月8日からの開会を予定しています

※詳細は、お太助フォンや市のホームページでお知らせいたします。

●議会だよりが無料ビューアアプリ「Catalog Pocket(カタログポケット)」で読むことができるようになりました。

議会だより第71号へのリンク



地域のかがやき

吉田 緊急事態宣言の合間をぬって自然体験



子どもふるさと探検隊 カヌー体験 (8月1日)

八千代 令和4年4月の開園が待たれる八千代保育園の棟上げ



八千代保育園建設現場 (9月28日)

美土里 自然の中での川遊び



みどりの森保育所の園児たち

高宮 限界はない! やれるだけやってみろ!



高宮中学校ナイター運動会 (10月2日)

甲田 元号のモニュメントを作られた宮本さん



さくら公園

向原 無観客でも気持ちが伝わるパフォーマンス



向原中学校体育発表会 (9月17日)

編集後記

先の8月豪雨災害によって犠牲となられました方のご冥福をお祈り申し上げますと共に被災されましたすべての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

今回の豪雨災害は平成30年の豪雨災害に続く甚大な被害となりました。とりわけ江の川の支川である多治比川の堤防決壊・氾濫による洪水被害は市中心部の拠点病院の診療機能を一時的に中断させるなど市民生活に多大な影響を及ぼしました。

議会としても先の9月定例会において、迅速な復旧復興に向け、国に対し特別の財政支援を求め意見書を採択し提出いたしました。50年に一度と言われていた災害は今や数年に一度となつています。災害に対し常日頃から備える心が必要で。

(武岡 隆文)

△発行責任者▽

議長 穴戸 邦夫

△議会広報特別委員会▽

委員長 新田 和明

副委員長 南澤 克彦

委員 田邊 介三

委員 山本 数博

委員 武岡 隆文

委員 芦田 宏治